

### 1 ロシア絶対主義の展開 (P117E年, P166E年)

**絶対王政の確立期**

キエフ公国(9~13世紀)  
 ↓  
 モンゴルの支配(13~15世紀)「タタールのくびき」

**イヴァン3世** (位1462~1505)  
 1480 モンゴル支配からのモスクワ大公国の自立  
 ○初めてツァーリの称号を用いる

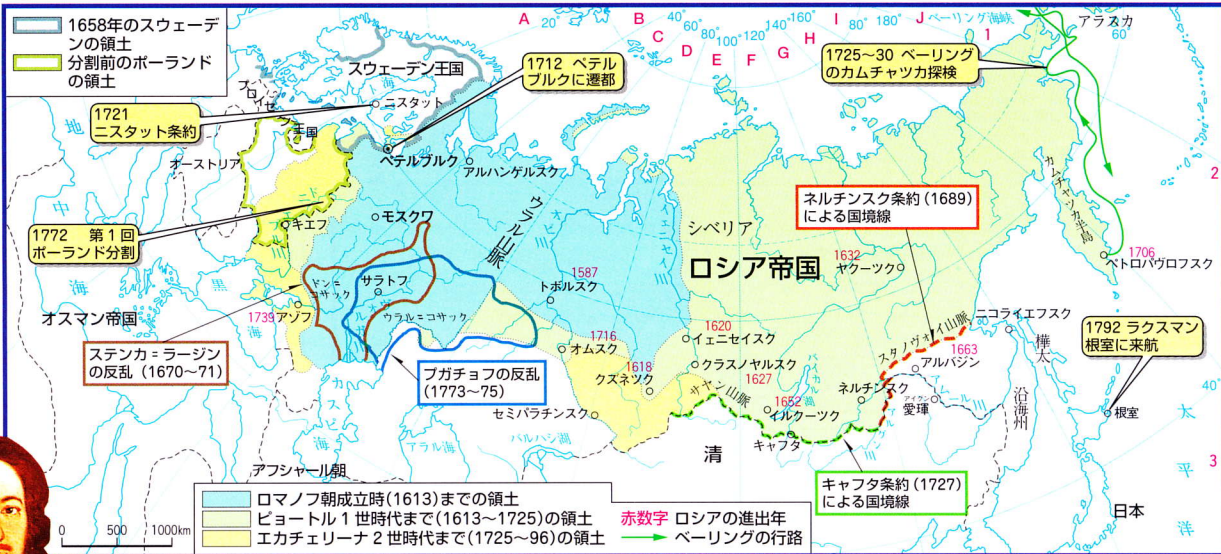
**イヴァン4世(雷帝)** (位1533~84)  
 ○ツァーリの称号を正式に使用、恐怖政治、農奴制強化  
 1581 イェルマーク(コサックの首長)のシベリア遠征(シビル=ハン国を征服)

**ミハイル=ロマノフ** (位1613~45)  
 1613 ロマノフ朝創設(~1917)  
 1670 ステンカ=ラージンの反乱(~71)

**ピョートル1世(大帝)** (位1682~1725)  
 1689 ネルチンスク条約 ●西欧文化の輸入  
 1700 北方戦争(~21)  
 スウェーデン(カール12世)と戦う  
 1703 ペテルブルク建設開始  
 1707 カムチャツカ領有 ●ピョートル1世  
 1721 ニスタット条約

**エカチェリーナ2世** (位1762~96)  
 1762 「訓令(ケカーズイ)」布告  
 ○啓蒙専制(絶対)君主、農奴制強化  
 1772 第1回ポーランド分割  
 1773 ブガチョフの反乱(~75)  
 1774 黒海北岸領有  
 1780 武装中立同盟提唱  
 1783 クリム=ハン国(1430頃~)併合  
 1792 ラクスマンの根室来航  
 1793 第2回ポーランド分割  
 1795 第3回ポーランド分割(ポーランド王国消滅)  
 1814 ウィーン会議 トレチヤコフ美術館(モスクワ)蔵

**絶対王政の全盛期**



### ピョートル大帝の野望

**北方戦争(1700~21)**

■原因 ピョートル1世のバルト海進出の野望

スウェーデン ← ロシア → プロイセン

デンマーク  
ポーランド

◆結果 ニスタット条約(1721)  
 ●ピョートル1世の野望完成

- ロシアは、リヴォニア・エストニア・イングリア・カレリアの一部・バルト海の若干の島を獲得する。
- スウェーデンはフィンランドを回復し、賠償金を支払う。

(『西洋史辞典』創元社)

●**ペテルブルク** 1712~1918年まで首都。北方戦争でスウェーデンから奪ったバルト海沿岸に1703年に建設した要塞が起源。



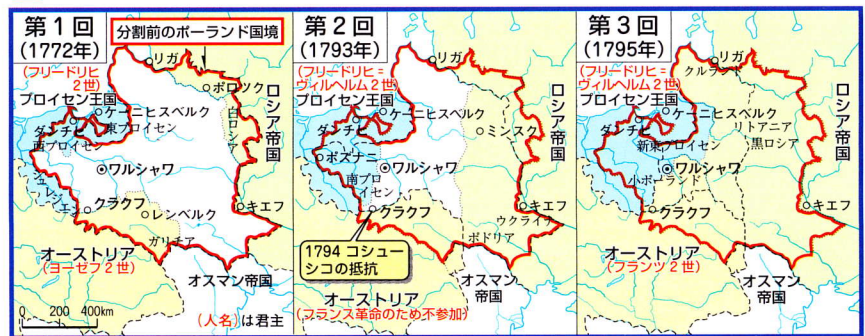
●**ピョートル1世が描かれたロシア紙幣** (1997年発行)

●**ペテルブルクの名前の変遷**

ピョートル1世の守護聖人の名前にちなみ

1703 サンクト=ペテルブルク  
 ↓ 第一次世界大戦開始時ロシア風に  
 1914 ベトログラード  
 ↓ レーニングの名前にちなみ  
 1924 レニングラード  
 ↓ ソ連の崩壊により  
 1991 サンクト=ペテルブルク

### 3 ポーランド分割(エカチェリーナ2世時代) (P117E年, P137E年)



### コシュージコ (1746~1817)

リトアニア貴族出身のコシュージコは、アメリカ独立戦争で活躍し、帰国後ポーランド軍司令官に就任した。列強の祖国分割に反対し、1794年**コシュージコ**に農民兵を含む部隊を率いてロシアと戦ったが敗北。1795年の第3回ポーランド分割でポーランド王国は消滅した。



### コシュージコの抵抗(ポーランド切手 1954年)

